

# かわら版



vol.8

## 地域おこし協力隊って？

都心部から人口減少や少子高齢化などの課題を抱える地方へ移住し、地域の新たな担い手として農業・事業承継・情報発信などの「地域協力活動」を行いながら、地方への定住を目指す取り組みです。任期はおおむね1～3年。小坂町では現在3名の隊員（熊澤圭祐、猪野直子、石橋辰耶）が活動しています。最近の活動内容を紹介いたします！

## ◆厳寒期の小坂七滝ワイナリー

「小坂七滝ワイナリー」は一年の中で最も寒い時期を迎えてます。ワイナリーのある小坂町上向藤原地区は町中心部よりも寒さがより厳しいエリア。1～2月の厳寒期には最低気温がマイナス10℃を下回ることも珍しくないそうです。11月後半から3月末までの冬期間、ワインの販売・試飲を行う「セラードア」は閉店、ワイナリーの見学もお休みとなっていますが、厳しい寒さの中でもワインづくりは続けられています。

この時期、日中でも醸造室の室温はマイナスということが普通（床の水があっという間に凍りつく！）。猪野直子隊員が訪問した時は2°Cで、熊澤圭祐隊員によると「今日はあったかいほう」とのこと。それでも写真を撮っているとすぐに手がかじかんでしまいます。

この日は「秋田犬ワイン・ロゼ」の瓶詰めや「ブラン・ド・ノアール」の濾過作業、「秋田美桜ワイン」のラベル貼りや梱包作業等が進められていました。

「ブラン・ド・ノアール」は糖度の高い黒ぶどう「スチューベン」を原料に作られる白ワイン（小坂七滝ワイナリーのものは非発泡性）。過剰な蛋白や色素・不純物を除去するために濾過が不可欠ですが、濾過器は大変詰まりやすく、何度も内部を洗浄し直さなければならないそうです。冷え込む中、大変根気のいる作業です。少しずつ濾過されたワインはきれいな淡いピンク色になっていました。



「秋田犬ワイン・ロゼ」の瓶詰め作業中  
石橋辰耶隊員「寒いけど。大丈夫です」



元日本酒用の濾過器



独特な色合いの白ワイン



ラベル貼り（室温2°C）

## ◆「地域おこし協力隊 活動報告会」開催決定！

来る3月15日土曜日10時半より、小坂町で活動する地域おこし協力隊3名による「活動報告会」を小坂町交流センター・セパームで開催することになりました。「地域おこし協力隊って何?」「どんなことをしているの?」といった町民のみなさまの疑問に答えるべく、3名の隊員がそれぞれの日頃の活動内容について報告をいたします。

猪野直子隊員、石橋辰耶隊員はまだ1年目ですが、熊澤圭祐隊員はこの3月で協力隊卒業となるため、3年間の集大成となる報告と今後への思いを、ぜひ聞きにいらしてください！

参加申込・お問い合わせは小坂町総務課企画財政班まで電話(0186-29-3907)またはEメール(kosaka-kyoryoku@town.kosaka.akita.jp)でお願いいたします。QRコードからもお申し込みいただけます。協力隊員へのご質問もお待ちしております！



QRコードから申込  
フォームにアクセス  
できます



## ◆公式LINEアカウントの英語版（ごみ関連）を試験的に運用中

現在小坂町の公式LINEアカウントでは、期間限定で「ごみ品目検索」や「ごみ収集日通知」等の機能の英語版を試験的に運用中です。2月は町内の日本語学校「AKITA INAKA SCHOOL」の冬期コースが開講中のため、町内に滞在中の生徒さんたちにご協力をお願いし、機能を実際に体験し、検証していただいています。生徒さんはアメリカ、オランダ、サウジアラビア、シンガポールなど世界各国からいらっしゃいます。

今後は、中国語や韓国語などへの対応も検討されています。観光や仕事などで町内に滞在・在住されている外国人の方々にも、町の情報をできるだけわかりやすくお届けできるよう努めています。



2月初旬から約3週間小坂町に滞在されています

「小坂町地域おこし協力隊かわら版」はおおむね毎月10~15日ごろにゆるく発行予定です。  
みなさんの小坂町での暮らしや取り組み、イベントなどの情報をお知らせください！

編集・発行 小坂町総務課企画財政班（地域おこし協力隊 猪野） 0186-29-3907